

数学

【新中1】 数学集中コース(F1)

中学1年で中学全範囲の数学を修了

「答ができれば良い」という姿勢ではなく「いかに論理的な推論を自分で行えるか」ということに重点をおいていきます。ですから「こうすればできる」といった形の講義は行いません。どのようにしたら、解くことができるのか。そもそもこのような概念はなぜ必要なのか。こうしたことを考え、自分の言葉で納得しながらすすんでいくような学習形態をとります。



学習方法

勉強の仕方を1から教えていきます

毎回の授業の導入の際には

- 「どうしてこのように定義(約束)するのか」
- 「どうしてこのように計算できるのか」

を全員が納得のいくまで講義しかつ話し合い、自分の言葉で理由を言える状態にする。そして初めて、計算等の反復練習に入るということを繰り返します。理由を納得した後は、反復練習でスピードをあげることも重要なことです。このようなステップを、ノートのとりかた・考え方・宿題のやり方・自宅学習の仕方といったまで細かく指導していきます。



演習重視

授業の中で実際に手を動かして演習する時間を多くとっていきます

数学は「講義をきいてわかる」ということと「自らの力のみで行える」ということのギャップがとても激しい教科です。その時わかったつもりになっても、いざ家で解こうとすると解けない、という経験は誰にでもあるはず。授業で解き方を教えて、あとは大量の宿題をやっつけてこさせる」という方式はそう簡単に続けられることではないばかりか、やり方だけを機械的に覚えるという、間違った勉強に陥ることになってしまいます。



個別サポート

授業の最後に「お帰り問題」を実施しています

「お帰り問題」とは、授業の最後に、その日扱った核となる問題を解いてもらい、その場で添削指導するものです。内容の理解が不十分なときは、何が分からないのかが分からず質問出来ない、ということがあるものです。講師にそういった穴を発見してもらうことで、疑問をその日、その場で解決できます。より速く深い理解を得られた生徒には、その子に応じて個別にどんどん発展的な内容の演習、プリントの配布、自習書の紹介などを行い、生徒によっては中学時代に大学範囲に達することも可能です。

英語

【新中1】 英語集中コース(L1)

英語を5年間で完成

高3時に英語の勉強をする必要がなく、他の科目の勉強に全ての時間をさけます。大学入試の50%は英語で決まるという程、英語偏重入試が現行ですが、新入試でも大きなアドバンテージとなることでしょう。



資格取得

各レベル受講者の終了時に取得可能な資格

中1で始めれば Level 1 終了時、英検2 or 3級に95%合格

中1 (Level 1)	英検 3級
中2 (Level 2)	英検 準2級
中3 (Level 3)	英検 2級
高1 (Level 4)	英検 準1級
高2 (Level 5)	英検 1級



実績

Level 5のMさん(高2・東洋英和)はアルファベットからヴェリタスで始め

- ★ Level 1 (中1) で英検2級取得
- ★ Level 3 (中3) でセンター試験194点、英検準1級取得
- ★ Level 4 (高1) で高3の東大実戦を受け英語84点

中1でLevel 1から始めて

- ★ Level 4のSさん(高1)は、中学卒業時、暁星のベスト・レーベン賞(英語の最優秀者に贈られる賞)を受賞。
- ★ Level 4のNさん(高1)は、Level 4最下位にもかかわらず、学校の実力試験では学年2位。
- ★ Veritas高3校内模試、上位5名中4名が1学年下である高2のLevel 5生。
- ★ Level 3 (中3) のセンター試験のクラス平均点は、全国平均(高3・浪人生)をこえている。クラスの3分の1は既に満点に近い。
- ★ 高3のOくん(海城)は、中3時に英検準一級取得。

中学生のうちには中間・期末テストの英語対策は不要

在学生編

中1から
通塾

櫻井 竜太郎さん 学習院高等科

ヴェリタスは弱者を救うんです(笑)。

中2のころ気分が乗らなくて、休憩時間のあと、わざと遅れて教室に入ったりして、そういうときでもほっとかれないんですよね。「あら、せっかくなら」と言われて、何がせっかくなのかわからないんですが、あてられて、うわっと思ったんですけど、でも、あてられて、考えたりやりとりしながら、もう一度その前の部分、遅刻した部分を説明してくれてるんですよ。たぶんそういうのがなかったら、ついていけなかったし、結果、やる気がでないうままだったと思います。なんだかんだ言って、やってることはどてもむずいことなんで、友達同士で助けあって勉強するのが当たり前になってるし、支えあう場になっていると思います。学校より、友人関係が深くて、不思議なところですよ。

中1から
通塾黒谷 京叶さん 白百合学園高等学校
大学数学のレベルまで学べる。

パンフレットを見て入りたいと思ったんですが、最初は両親が全然許してくれなくて(笑)。「今度の期末試験これだけの点数取ったら行かせて！」って説得して行かせてもらいました。今では両親もすごい「通って良かったね」って言ってくれます。カリキュラムとかがすごい他の塾と違いますね。他の塾では問題をいっぱいこなして解法を暗記しろみたいな感じなんですけど、ヴェリタスってちゃんと数学の根本から大学数学のレベルまでを教えてくれて。最初の授業では「え、こんな定理の証明からやるの?」「何の意味があるんだろう?」とか思ったんですが、今になってそのやり方がすごい役に立っています。

中1から
通塾中嶋 汐音さん 東邦大学附属東邦高等学校
なんで?を解決できる場所。

わかんないことがあるとなんで?なんで?ってなっちゃって、結構親とかに「なんでなんでうるさいよ」って言われるんですよ(笑)。でも他の塾の話聞くと、授業中質問禁止らしくて。だから教えあえる、コミュニケーションできるのって、貴重なんだなって思います。なんで?って思った時に、自分で気づかなきゃいけないこともあるけど、人からヒントをもらわないと気づけないようなこともあるじゃないですか。ちゃんと解決しないとなんか気持ち悪いから、聞ける場所があるっていうのはすごくいい。解決できる、あーってなれるのがヴェリタスだなーって。

VERITAS

在生編



原理の根本から導き出していく。

前に通っていた塾では結構公式を覚えないうけなかったんですが、それが自分には合わなくて。ヴェリタスでは、原理の根本から導き出していくという感じで全然違う。例えば数学だと、「証明できなかつたら使うな」みたいな。自分が使う公式が本当に合っているのか確信を持ってないと、答案に確信を持ってないじゃないですか。与えられたものをやるだけだと頭を使わないので、自分でアクティブにやっの方が理解は深まると思います。一つの公式から別の公式が導かれる場合でも、それぞれを別々に与えられると、その関係性を見出せなくてたくさん覚えないうけなくなるので、その意味でも原理は大切だと思います。

講師と一緒に考えてくれる。

自分が質問したことに対してどうアプローチしていくか、講師が一方的じゃなく生徒と一緒に考えてくれる、そういうところが結構印象的です。正解をズバリ言わないで、「今どこまで理解できて、どうしたら完璧な理解まで行けるのか?」ということ、そのプロセスの中で自分がわかっている所からちょっとずつ広げていく。急にバン!って新しいものを挙げるんじゃないで、自分のわかっているところから広げてくれるから、本当に理解できるんだと思います。講師は話しやすく、ちょっとでも不思議に思ったところをすぐきけるのも良いですね。

バラバラだった数学の知識がつながった。

ヴェリタスに入る前は普通に問題を解いて終わってたんですけど、ヴェリタスの最初1月くらいから授業受けてたら、私が数学であやふやにしてたところが埋まっていくような感じがしたんです。頭の中でバラバラにあった数学の知識がつながるみたいな、そういう感じがして。すごいですよね、ちょっと感動しました。たぶん私は原理があまり分かってなかったんじゃないかと思うんですけど、そこを埋めてくれたので、なんか数学が一つになったという感じがしました。

数学の世界が広がるというか、見方が広がるというか。

ヴェリタスのディスカッション問題はすごいいろんな解き方があるから、皆が違う解き方で解いてきて、どうやった?って。自分が全然思いつかなかった解法でやってる人を見ると、すごい刺激を受けて面白いです。同じ問題を解いてるのに全然違う見方があって、色々分かって楽しいです。みんな分かんない問題とかがたまにあるんですけど、先生がちょっとしたヒントを下さって、話し合っ自分たちの力で答えが分かった時はすごい嬉しいんです。達成感が。今までは一個解法を考えてみて、だめだったらいつもそこでもう無理だっとなってたんですけど、他の見方が分かってきて、それを何個かやっていくうちに、これ!っていうものが見つかった。解けなかった問題も、全然違う見方にするとうすごい簡単に解けたりするので楽しいです。

VERITAS

父母の
紹介

保護者様が週1回一年間通って下さいました。

VERITASに子供を通わせている保護者の方が、自分もう一度きちんと数学を学んでみたいという動機の下、忙しい仕事の中週1回一年間通って下さいました。保護者の視点も併せもった方からみて、ヴェリタスがどのように映ったのか語っていただきました。

損害保険会社勤務 菅原 直樹 さん

中学生の娘の通う塾 一高校生にまぎって授業を受ける決心

きっかけは、保険業界の数学の資格試験に思い立った事でした。高校生のときに、数学をモロにできなかったという思いがあり、心のどこかに「いつか数学をきちんと勉強してみたい」という思いがくすぶっていたような気がします。私は、文系でしたので理系範囲を高校ではやっていませんでした。いろいろと試行錯誤しましたが、独学は難しいと判断し、「社会人でも高校数学を学べる場所はないか?」と探し始めました。インターネットで、探し回りましたが、社会人を対象している塾で、私が求めているものに合致するところはなかなか見つからず、仕事が忙しいこともあり、時間ばかりがすぎて行きました。ふと娘の通う、VERITASのホームページを見ると、大学生、社会人も学べると書いてあります。基本は高校生の大学受験向けの塾ではあるものの、学びたい人には門戸を広く開いている姿勢がホームページから読み取れ、保護者としては電話をしてみました。折り返し永島先生が電話をくださり、私の要望、何を学びたいか、時間の制約などの条件、その他を聞いてくださいました。永島先生は、私の年齢など全く問題にせず、「やりましょう。菅原さんの状況ならF4(数IIIのクラス)がよいでしょう。」と仰ってくださいました。ちょうど春になる時期でしたので、開講と同時にVERITASに入学しました。

授業を受けて、変わったこと

当初、高校生にまぎって授業を受けることに不安もありました。しかし、一回授業を受けてみて、私にも分かるんだと、20年も数学をやっていない私でも充分にわかるということにまず驚きました。VERITASの授業では、常に定義(definition)を意識するよう繰り返し言われました。それから、「いま判明している材料から、自分達で考える」作業をずいぶんやりました。こういうことを繰り返すうちに、「いまやろうとしていること(学ぼうとしていること)」の中で最も重要なコトを頭の中心に置き(定義)、そこから1つずつ論理的に作業をすすめるは、道を誤らない」ということが実感でき、どんどん身につけていきました。「わかる」「理解する」ために、どうやって頭の働かせ方をすべきか。そのために守るべきルールは何か。そういうことを教えてもらいました。そしてそれは、数学のみならず、すべての科目に共通するものだと思います。受験はもちろん、仕事をするうえでも大きく役立っています。

実際通ってみて感じた雰囲気

VERITASの生徒さんは、仲が良く、明るい雰囲気、いい子たちだと見ていて和を感じました。しかし、勉強に関しては、自分自身に厳しさを持っていると感じました。先生方の方は、こんなにも細かく生徒を見てくれるのか、と驚きました。気さくでコミュニケーション能力に長けていて、今の若い世代にはこういう人達がいるのだと。例えば、相手の性格によって、同じ事を伝えるのでも、受け入れやすい様に表現を変えたり、誤解を生まないように配慮したり、励ます時と叱る時の使い分けなど、子どもの教育という意味でも勉強になりました。また、質問というものに対して、相手の立場にたって丁寧に対応してくれるため、授業の後は自然と生徒が集まってきました。自分が望めば、いくらでも勉強ができる、そんな場所でした。私が高校生のときにこういう勉強をしていけば...と思うと、VERITASに中学・高校から通える方々をとても羨ましく思います。



VERITAS
在 学 生 編
(中 学 1 年 生)



授業終了後に、F1(数学)、L1(英語)の中学1年生の皆さんに聞きました。(一部のみです)

●アドバイスは？

授業はちゃんと来よう！
そう！1回来ないと結構めんどくさいことになる！
宿題はやれば絶対に結果がでるから絶対やってくるべき！
家で復習して昨日やったところをもう1回やって思い出すのはおすすめ、復習大事！
先生めっちゃ優しいからわかんなくなったらすぐ先生のとこ行って質問するほうがいい！
分からないことをそのままにして帰らない！
あとノートはしっかりとったほうがいい。
マイ・ベスト・参考書を作るイメージ？
うん、1日の授業で4〜6枚ノート使ってるからすぐノートなくなっちゃう、学校だと使い切れないことが多いのに。
ノートに色々メモるようにしたらよかったよ！
板書がよくまとまるから、何度も見返したくなる。特に語帳！
語帳が綺麗になると成績もあがっていく。
うん、わかるとやっぱもっとやりたくなるよ。
単コン大変だけど、結構覚えられるから、学校の英語は楽勝！
友達を作った方がいいと思う！
つくるといふか、自然と仲良くなった、お帰り問題とかわかんないこと聞いて。
友達がいると心強いし楽しい！

●ヴェリってどんなところ？

多民族国家！
変であることが許される感じ。
うん、否定されないもんね。
変なことどんどん言える、授業中がそんな雰囲気！
あー(みな口々に)
なんか、間違っても、正しい部分とか掘ってくれるし、教科書的に正しくても、微妙な間違いをみつけてくる、そんな感じ。
おー
でもだから言いやすいよね。
不思議と頭に残る！
わいわいやってたほうが逆に頭が動いてる感じがするよね。
学校だったら何となく進んでくんだけど、それとは違う感じ。
最後の深いとこまで教えてくれる。
突き詰められる感じ。
あと、問題に対する先生のちょっとしたコメントが好き。

問題解くときの気持ち？みたいなやつ。
あれいいよね。
あのコメントのおかげで、どの解き方がいいかなって考えながら解く癖がついた。
質問とかしやすいです！
つぶやいただけで先生が反応してくれるよね。
あーそれあるある！
学校だと発言するの恥ずかしいけど、ヴェリだと恥ずかしくない。
みんな質問しまくってるよね。
わからないっていいやすいよ。
教室が狭くて最初嫌だったけど、密着感のせい？ 仲良くなりやすい！
学校とは違う、仲のよさ？学校が違う人と知り合えるのがいいよね。
自然となんか話すようになったよね。
うんうん。
休み時間にわかんないこと結構話さよね。
座った席次第で、新しい友達が増える。
みんなと一緒に考える場所って感じ。

話していると刺激されるよね。
塾っぽくないよね。
そうそう塾じやない。
ゆるーい。
あと、先生が先生じゃないみたい。
なんか、今日ヴェリタスじゃん、って思っ、来たら楽しむ場所。
勉強しないタイプもだんだんやるようになる、宿題ががつりだから(笑)
宿題の答えの中にトラップが混ざってるから写すとやばい。
逆にどこがトラップか探したくなる(笑)
そうそう1トラップあるのがいい。答を疑う気持ちが生まれるようになる(笑)
授業中に、考える時間をしっかりくれるのがいいと思う。
おかしな問題がいい！わからないとこなくて帰れる！
今日のことがわからないと、かえれな〜い(笑)
ヴェリくと不思議とやんなきゃなって気持ちになります！！



初講日アンケート

先輩が初回の授業を受けて、どう感じたかを載せています。

数学 Field1 (新中1)

初講日 実施アンケート
(一部抜粋)

ただ覚えるのではなく、「なぜ？」というところを説明してくれるところ、笑をまじえて教えてくれるところ。(開成)

- 数学って算数より楽しそう(雙葉)
- 効率とスピードが今までと全く違う！(武蔵)
- 長いのに集中力もつ(白百合)
- 段階を踏んでいて分かりやすい(開成)
- 真面目な授業の中にも冗談などがはいていた。楽しく学ぶことができました(白百合)
- 演習時間がたっぷりあってわかりやすい(桜蔭)
- 小学校の時の算数とは違って数学は奥が深いと思いました(学大世田谷)
- 知らなかった幾何の証明が分かる様になった(慶應普通部)
- マイナスの意味がわかった！(海城)
- とても楽しくふだんの生活にかぶせながら教えて下さったのでとても楽しかった(桐朋)
- 人数が多くても先生に質問しやすい(筑附)
- 図や例をつかって細かく説明してくれるのでうれしい(渋幕)
- 例えが具体的(東京女学院)
- わかりやすく、面白く、自分達がきちんと授業に取り組めるような感じで教えてくれた(雙葉)
- 体験の時の算数より、数学の方が面白い！(開成)
- 面白い話を交えて説明されるので、正負の数についてしっかり理解することができた(筑駒)
- ただ教えてくれるだけでなく、理由から詳しく説明してくれたのでよかった(雙葉)
- どうしてこうなるのかを、しっかり説明してもらえたので、よかったです(女子学院)
- 頭が整理出来た！(暁星)

英語 Level1 (新中1)

初講日 実施アンケート
(一部抜粋)

とても楽しく、英語が好きになりました。来週も楽しみです。(白百合)

- キチキチ勉強というムードではなく、楽しく授業が進められていて良かった(筑附)
- 先生と話しやすい(女子学院)
- かなり多くのことを勉強しているのに、全く早いと感じなかった(山脇学園)
- 例文を何度も書くから、授業が終わったときには完ぺきに覚えられる(筑附)
- たくさん覚えることができたので、得したような気がした(筑駒)
- 「本日の予定」をたんとできて、それなのに、内容がわかりやすい(お茶女)
- 文法の本当の理由が分かって、文章が書きやすくなった(市川)
- 前の先輩のノートの取り方が分かって、参考にできるのがいい(暁星)
- 英語って面白い！(立教池袋)
- どんどん進むので集中力が切れない(海城)
- ペースがゆっくりめで分かりやすかったので、授業内容を理解できた(東洋英和)
- 口で言ったことをしっかりまとめて書いてくれて分かりやすい(海城)
- 何度も問題をやって、やり方が身に付くポイントを書いていたところ(慶應中等部)
- 楽しかった。語帳に絵を描きたい(東洋英和)
- 1つ1つ細かくやってくれて最後にまとめてくれるのがいい(豊島岡女子)
- 頭がフル回転するから眠くならない(女子学院)
- 「なぜ」を分かり易く教えてくれた(暁星)
- 早くて飽きるところがなくて楽しい(筑駒)

VERITASでは、10年以上前から2021年新入試制度の主眼である、学び手たちの主体性・協働性・多様性を軸にした授業を行っています。(生徒たちのインタビューから感じて下さい)